

組織・グループ名	三浦市社会福祉協議会 介護職従事者等人材育成・研修センター
活動区分 ※いずれか1つに○をつける。	<ul style="list-style-type: none"> ● 一般助成 〔 当事者活動支援・福祉の学び推進・地域福祉ニーズ(課題)対応・地域福祉コミュニティ構築 〕 ● 協働事業助成 〔 1. 福祉教育・ボランティア学習プログラム構築に係る先駆的な活動 2. 地域住民、関係機関・団体の福祉意識の醸成を基盤とし、幅広い世代の社会参加推進に係る先駆的な活動 〕
助成事業名	地域共生社会を支える研修センターの推進

助成事業の概要〔事業の目的・取組みの概要・成果や参加者の様子・今後の展望等〕※活動の様子が分かる画像を2枚程度挿入すること。

目的：第4次三浦市地域福祉活動計画の施行に基づき、今までの活動を整理するだけでなく、様々な団体とのつながりを活用した子どもから高齢者、全世代を対象とした地域共生社会の実現に向けた研修体制を構築するため。

対象：三浦市在住・近隣市町村在住の全世代

実施状況：各研修・講習会は10～30名程度参加、イベントのはつらつフェスタは1000名近くの来所があった。

各資格研修はほぼ例年通りにニーズがあったため開催した。

新たな連携として、ライフキネティックトレーナー、全国介護者支援団体連合会、一般社団法人ソーシャルコーディネートかながわとつながりが出来た。

従来からの連携の継続として、みうら観光ボランティアガイド協会、日本ノーリフト協会、みうら市民健康大学オープンキャンパス実行委員会、神奈川県医療福祉施設協同組合と研修を企画出来たが、2月後半よりコロナウイルス感染の広がりにより、中止になった研修もあった。

成果および課題：

- ・自前の研修センターとして平成27年度より様々な研修を組んできたが、今回の助成を頂くことで、例年以上に広い世代に対する研修や講習会を開催することが出来た。

- ・来年度は助成がなくなるが、社会福祉法人の公益事業として継続していく予定である。広く周知し、講師を招くためには、経費もかかるためより計画的な研修実施計画が求められる。

- ・ここ数年、一般向けの研修会や講習会の参加人数に頭打ちが見られる。そのため、参加する側の研修ニーズをしっかりとキャッチすることも必要である。

今後の展望：

- ・令和2年度も昨年度を参考にしながら、研修計画を組むことが出来たが、コロナウイルス感染の影響で、現在上半期の研修計画の見直しが迫られている。

- ・コロナウイルス感染終息後に、改めて再スタートが出来るように体制を準備していく。

